

四万十川ウルトラマラソンを活用した交流人口拡大・観光誘致プロジェクト (R8年度事業費 74,343千円)



1. 事業の目的

●「四万十川ウルトラマラソン」の開催を契機に、四万十市・四万十町が有する自然・文化・人の魅力を全国に発信し、交流人口および観光客の増加を図ることを目的としています。大会運営の体制強化、安全・快適な競技環境の整備、地域住民と一体となった「おもてなし」の充実を通じて、地域活性化と持続的な大会開催の基盤を構築します。

2. 事業の背景・概要

●背景

「四万十川ウルトラマラソン」は、四万十市・四万十町の豊かな自然環境と人々の温かさを体感できる全国有数の大会として、多くのランナーに親しまれてきました。

(100kmを折り返し無しで走る日本陸連公認のコースは国内で四万十川ウルトラマラソンのみ) 残念ながら近年では、スタッフ・ボランティアの高齢化や運営人員の確保、安全体制の整備に課題が顕在化しており、円滑な運営の持続に懸念が生じています。また、地域外からの参加者が大会当日に限って訪問・滞在する傾向もあり、観光消費や交流の広がりが限定的です。

本事業では、四万十川という希少な自然資源を舞台としたマラソン大会を最大限に活用し、「訪れるだけの地域」から「また訪れたい地域」へと進化させることを目指します。

●事業の概要

①運営体制の強化

大会スタッフやボランティアの新規確保を進めるとともに、シフト制の導入等により負担を軽減し、多様な人材の参画を促します。また、民間事業者との連携によって一部業務を委託することで、ボランティアとの業務分担を明確にし業務の効率化と質の向上を図り、安定的な運営体制を構築します。これにより、大会運営の信頼性と満足度が向上し、継続的な参加や口コミによる来訪者の増加を通じて、地域の観光振興に寄与します。

②安心して走れる環境づくり

ランナーが安全かつ快適に競技に集中できる大会運営を目指し、今後の課題を未然に防ぐ体制を整えていきます。給水や補給体制の維持を通じて、エネルギー不足によるリタイアの増加を防ぐとともに、リタイア者への迅速な対応が行えるよう、輸送や連絡体制を維持します。また、コース誘導や照明設置の体制を確保し、コース間違いや転倒といった事故の防止にも努め、ランナーが安全かつ快適に走行できる環境を整備します。これにより、大会の満足度が高まり、再訪や周辺観光への誘導が促され、地域経済への波及効果が期待されます。

③地域ならではの「おもてなし」の充実

地元住民や学生、各種団体による応援企画を実施し、大会を通じた地域一体感を醸成します。加えて、ランナーとの交流イベントや前夜祭、地域とのふれあいの場を設けることで、地域と参加者のつながりを深めます。また、特産品を活かした参加賞や飲食ブース、地域体験型プログラムとの連携を進め、滞在価値の向上と観光消費の促進を目指します。

3. 事業費

	R8
事業費計	74,343千円
業務委託費	50,921千円
役務費	2,630千円
需用費・備品購入費	5,750千円
各種使用料	5,400千円

お問い合わせ・お申し込み先 (四万十市)

高知県四万十市役所
〒787-8501
高知県四万十市
中村大橋通4丁目10番地

生涯学習課スポーツ振興係
TEL:0880-34-0750
FAX:0880-35-4260
E-mail:
sport@city.shimanto.lg.jp

企画財政課企画調整係
TEL:0880-34-1129
FAX:0880-34-6767
E-mail:
mirai@city.shimanto.lg.jp

デジタル広報課メディア・PR推進係
TEL : 0880-34-1145
FAX : 0880-35-0007
E-mail:
sansin@city.shimanto.lg.jp

■第3期四万十市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置づけ■

第3期四万十市まち・ひと・しごと 創生総合戦略（抜粋）

基本目標3 若者や女性に選ばれるまちづくり

◆外商を強化する

1) 移住・定住の促進

②情報発信と関係人口の拡大

移住者獲得のためには、本市に関心を持ち、移住先を選択していただくことが必要です。このため、移住希望者が最も必要とする住まいの情報や移住支援体制のほか、「川とともに生きるまち」のキャッチフレーズのもと、本市の魅力である四万十川をはじめとする山・川・海の豊かな自然や住みやすさ、温かく受け入れる地域の人柄、移住モデル、移住者の声・体験談などについて、情報発信を強化します。

また、四万十市が大好きで「もっと知りたい」「良くしたい」「応援したい」という市外在住の方を「四万十市ふるさと応援団」として募集、登録し、双方向による交流を行いながら、将来の移住に繋がります。

さらに、個人や企業によるふるさと納税を通じたPRやスポーツ合宿の誘致、スポーツイベントの開催等のほか、四万十市を遠方から応援いただくための施策を実施するとともに、若者の文化的活動の活性化や地域みらい留学等、地域内の高等学校の魅力向上に向けた取り組みを実施します。

これらを通じて、本市に関わりを持っていただける「関係人口」の創出・拡大及び若者の定着に繋がります。

四万十川ウルトラマラソンを活用した 交流人口拡大・観光誘致プロジェクト

①運営体制の強化

大会スタッフやボランティアの新規確保を進めるとともに、シフト制の導入等により負担を軽減し、多様な人材の参画を促します。また、民間事業者との連携によって一部業務を委託することで、ボランティアとの業務分担を明確にし業務の効率化と質の向上を図り、安定的な運営体制を構築します。これにより、大会運営の信頼性と満足度が向上し、継続的な参加や口コミによる来訪者の増加を通じて、地域の観光振興に寄与します。

②安心して走れる環境づくり

ランナーが安全かつ快適に競技に集中できる大会運営を目指し、今後の課題を未然に防ぐ体制を整えていきます。給水や補給体制の維持を通じて、エネルギー不足によるリタイアの増加を防ぐとともに、リタイア者への迅速な対応が行えるよう、輸送や連絡体制を維持します。また、コース誘導や照明設置の体制を確保し、コース間違いや転倒といった事故の防止にも努め、ランナーが安全かつ快適に走行できる環境を整備します。これにより、大会の満足度が高まり、再訪や周辺観光への誘導が促され、地域経済への波及効果が期待されます。

③地域ならではの「おもてなし」の充実

地元住民や学生、各種団体による応援企画を実施し、大会を通じた地域一体感を醸成します。加えて、ランナーとの交流イベントや前夜祭、完走後のふれあいの場を設けることで、地域と参加者のつながりを深めます。また、特産品を活かした参加賞や飲食ブース、地域体験型プログラムとの連携を進め、滞在価値の向上と観光消費の促進を目指します。

■上記項目のKPI（重要業績評価指数）※情報発信と関係人口の拡大に係る

	基準値（R6）	目標（R11）
移住ホームページアクセス数	30,666回	40,000回
市Instagramフォロワー数	2,400人	7,000人
移住相談会・移住フェア等開催及び参加回数	7回	7回
四万十市ふるさと応援団	4,450人	5,100人
スポーツ合宿 誘致回数	7件	9件
スポーツイベント 開催回数	5回	6回
中村高校西土佐分校生徒数	1学年8.6人	1学年11人以上